

2025年度
プログラムの
ご案内

精神分析 研究会・神戸

精神分析的アプローチは何を治療的と捉えているのでしょうか？ 治療とは、症状や苦痛の除去と同じでしょうか？ 精神分析は、そうではなく、問題を生み出さない、問題が生じても解決できる力を持つことを手助けすることを目的としています。それは、経験する心の機能の発達と行うことができるでしょう。それは、他者の心と交わることで自己が変容し、何かを生む心の機能によって成し遂げられます。今年度は、夢、エディプス・コンプレックス、逆転移、相互性と協働などの副テーマを織り交ぜながら、上記について皆さんと考えたいと思います。

なお、当セミナーは日本精神分析学会の認定を受けた研修グループです。コロナ禍においてオンライン開催が認められてきましたが、2025年度はハイブリッド開催（現地とオンラインの併用）も併用して行きます。皆様と現地で交流できる機会を大切にしたいと願っています。

*ハイブリッド開催は4月、6月、12月、1月、3月を予定しています。現地会場は小林メンタルクリニックです。お申し込み方法は後日事務局よりメールでお知らせ致します。

代表：小林 俊三

1. 精神分析セミナー

オンライン&ハイブリッド開催

事例検討と系統講義のセミナー。さまざまな学派の講師をお招きし、幅広く精神分析について学びます。

参加費 60,000円（臨床心理系大学院生 30,000円）

開催日時 日曜日（月1回・年間10回）12:00～16:45（第4回と第6回は16:00～20:45）

2. 臨床講読会（講師：小林俊三）

オンライン開催

精神分析の重要な著作をグループで検討し、参加者が文献理解に必要な力を身につけることを目指します。初学者の方を歓迎します。

参加費 20,000円（精神分析セミナーにご参加の方は 10,000円）

開催日時 原則 第2木曜日19:30～21:30

3. グループスーパービジョン（講師：小林俊三）

オンライン開催

小グループの参加者が毎回順番にケースを発表し、参加者全員でディスカッションしていきます。

参加費 20,000円（精神分析セミナーにご参加の方は 10,000円）

開催日時 原則 第4土曜日19:00～21:00

1.精神分析セミナー

精神分析の治療作用 - 何が変化を引き起こすのか -

日時：各回とも日曜日12:00～16:45（第4回と第6回は16:00～20:45）

構成：第1部 事例検討（12:00～14:00）第2部 系統講義（14:15～16:45）

2025年4月20日（日）ハイブリッド開催

01. 治療関係における相互性と協働-精神分析的観察との関連で

平井 正三 先生

臨床心理士 御池心理療法センター

精神分析実践の治療的性質について、治療者の理解や解釈を強調する考えから、クライアント／患者との協働から理解が生じること、そしてそれ自体が治療的であるという考えへと変わってきています。本講義ではこの点について話します。

2025年5月11日（日）

02. フロイト、クライン、ビオンにおける治療作用論の変遷

福本 修 先生

精神科医 代官山心理・分析オフィス

この三人は、精神分析の創始と発展を代表する人たちです。彼らの治療論がどのような時代に、どのような精神病理を対象として発展したか、また、それが彼らの個人的な問題意識と課題にどう呼応していたかを論じて、現代の諸問題につなげたいと思います。

【参考文献】1) 福本修著「精神分析の現場へ」誠信書房 2) クリス・モーション編、福本修訳「W/Rビオンの三論文」岩崎学術出版社

2025年6月15日（日）ハイブリッド開催

03. 心の仮死とその蘇生：心的生命論入門

飛谷 渉 先生

精神科医 大阪教育大学保健センター

現代の臨床では、発達症とトラウマの理解が必須です。治療では、心が心として生きているという心的生命論の観点から「心の仮死」を知ることが有用です。「自分になること」という破局的変化、つまり心的蘇生が生じます。本講では心的生命論の発想を解説します。

2025年7月13日（日）オープンセミナー

04. 精神分析の治療作用

阿比野 宏 先生

精神科医 Tavistock Clinic

精神分析的療法の中で、精神療法家の関わりはどのように患者たちに体験され、影響を与えるのでしょうか？患者の理解の変化、発展を元に、精神分析的な精神療法家が、何をもちたそうとしているのかについて考えていきます。

※この回はロンドンからのオンライン開催により16:00～20:45となります。

2025年9月7日（日）

05. 関係論にとって治療作用とは何か

吾妻 壮 先生

精神科医・臨床心理士 上智大学

関係論は、古典的な精神分析の中に相異なる複数の視点を見出し、かつそのいずれも否定することなく多元的に捉えようとしています。そのような姿勢の結果の一つは、治療作用についての根本的な見直しです。本講義ではこのことについて話します。

2025年10月19日（日）

06. 心的変化における夢の働き

西村 理晃 先生

臨床心理士 Tavistock Clinic

本講義では精神分析臨床において夢をどのように理解し分析していくだけでなく、夢、さらには夢見という現象（ドリーミング）が精神分析プロセス、そしてそのプロセスのなかで生じる心的変化においてどのような影響を有するかについて検討していきます。

※この回はロンドンからのオンライン開催により16:00～20:45となります。

2025年12月14日（日）ハイブリッド開催

07. 逆転移と治療作用

小林 俊三 先生

精神科医 小林メンタルクリニック

分析的な交わりは、他なるものとの衝撃によって自己が変容を被るとともに、新しい何かを生み出す交流を指します。重症例では、このような心的変化はまず、治療者の逆転移と言われるものの労苦の多い仕事を通して訪れます。皆さんとともにこのことを考えたいと思います。

【参考文献】1) John Steiner : Lectures on Technique by Melanie Klein. 2) Robert Caper : A Mind of One' s Own. (「米国クライン派の臨床」岩崎学術出版社)

2026年1月18日(日) **ハイブリッド開催**

08. 治療の行き詰まりと破局的変化-特に集団心性をめぐって

浅田 護 先生

精神科医 浅田心療クリニック

2017年精神分析学会編集委員会企画による、特集「精神分析を構成するもの 第5回:心的変化と治療の成り立ち」において平井正三氏と討論した時の演者の論文「重症例の治療的变化と治療の成立」に沿って講演します。

【参考文献】浅田護(2017):重症例の治療的变化と治療の成立.精神分析研. 61,176-189

2026年2月8日(日) **オープンセミナー**

09. 外傷のケースにおける治療作用とは何か

奥寺 崇 先生

精神科医 クリニックおくでら

多彩かつ不安定な病状、衝動的な行動とは裏腹に速やかに回復を見る症例が少なくない一方、治療が遷延し適応以上の(つまり内的な)回復がはかどらない患者が一定数います。セミナーでは主に後者について検討したいと考えます。

2026年3月8日(日) **ハイブリッド開催**

10. 治療終結をどう考えるか?: 様々な判断

仙道 由香 先生

臨床心理士 新大阪心理療法オフィス

心理療法の開始時同様、終了時の判断もまた難しいものです。いつ、どう、何の、誰の要因で終了を決断するか、その後どうなるか等、治療者の逡巡や後悔も含め、ご参加の皆さんの体験も踏まえ、共に考えてみましょう。

2. 臨床講読会

- R. ケイパー 著「米国クライン派の臨床 自分自身のころ」(岩崎学術出版社) -

本書は発表当時、「この20年間に発表された論文の中で最も重要なもの」と評された名著です。彼の主な主張は、患者が治療者とその分析的内的対象とのつながりに割って入れないことを知り、また、治療者が患者の内的世界に深い敬意を払っていることを知るなら、患者は、分離した「自分自身のころ」を持つようになるということです。ビオンを理解する上でも格好の著作となっており、初心者の方も歓迎します。(小林俊三)

- **テキスト** R. ケイパー 著「米国クライン派の臨床 自分自身のころ」(岩崎学術出版社)
- **講師紹介** 小林俊三先生(小林メンタルクリニック)
- **対象の方** 医師、臨床心理士、公認心理師、臨床心理系大学院生。テキストを読んで参加し、年1回程度レジュメ作成・発表を担当できる方。なお、「精神分析研究会・神戸」入会者を優先いたします。
- **開催日時** 原則 第2木曜日19:30~21:30
(第1木曜)
2025年・・・4月10日 / 5月8日 / 6月12日 / 7月10日 / 8月7日 / 9月11日 / 10月9日 / 11月13日 / 12月11日
2026年・・・1月8日 / 2月12日 / 3月12日

3. グループスーパービジョン

- 分析的思考を身につけるグループワーク -

少人数の参加者が毎月順番にケースを発表し、グループ全体でディスカッションしていきます。他の人のケースを考えコメントすることによって、分析的思考が身につけていきます。日本精神分析学会の認定を受けています。

- **講師紹介** 小林俊三先生(小林メンタルクリニック)
- **対象の方** 週1回50分のケースを持っている方で、年1~3回発表できる方。前年度の参加者を優先いたします。
- **開催日時** 原則 第4土曜日19:00~21:00
2025年・・・4月26日 / 5月24日 / 6月28日 / 7月26日 / 8月23日 / 9月27日 / 10月25日 / 11月22日 / 12月27日
2026年・・・1月24日 / 2月28日 / 3月28日

申し込み方法

1. ホームページ<https://bunseki-kobe.com>の申込みフォームから、**4月6日(日)**までにお申し込みください。
2. 参加資格をご確認の上ご連絡いたします。
3. 参加受付の返信を受け取られた方は、下記振込先に該当の参加費を、**4月10日(木)**までにお振り込みください。

お申込みはこちら

- **振込先** 三井住友銀行(神戸支店営業部・店番号500)・普通口座・9230828
精神分析研究会・神戸 代表者 小林俊三



参加費 ※1

	精神分析セミナー	臨床講読会	グループSV
精神分析セミナーに参加される方	(一般の方) 60,000円 (大学院生) 30,000円	10,000円	10,000円
精神分析セミナーに参加の方	-	20,000円	20,000円

※1・・・一年一括前納です。セミナー開始後のキャンセル及び返金はお受けしておりません。ご了承ください。

精神分析セミナーについて

- **対象** 医師・臨床心理士・公認心理師/それに準ずる専門家/臨床心理系大学院生、かつ守秘義務を厳守いただける方。
- **ポイント** 受講は通年で、各回ごとの参加はできません。「参加認定証」は規程に従い7割以上の出席者に発行いたします。
(臨床心理士資格認定協会のポイント取得時に必要)

学会認定について

当研究会は以下の学会・認定協会の認定を受けています。

- 日本精神神経学会
- 日本精神分析学会
- 日本臨床心理士資格認定協会

事例応募について

発表を通して、ご自身の臨床を整理し、深める貴重な機会になると思われます。参加申込みの方には、一律に事例応募用紙をお送りします。発表初心者枠も設けていますので奮ってご発表ください。

研修ポイントについて

精神分析セミナーの「参加認定証」は認定基準に従い、7割以上の出席者に発行致します。

(臨床心理士資格認定協会4ポイント)

※臨床心理士協会からのアナウンスによりポイント数変更の必要性が生じた場合はすぐにホームページでお知らせします。

主催 精神分析研究会・神戸

Email bunseki-kobe@yacht.ocn.ne.jp

URL <https://bunseki-kobe.com>

所在地 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通2丁目5-9
グランドプラザトーアビル5階 小林メンタルクリニック内

詳しくは、精神分析研究会・神戸ホームページ
<https://bunseki-kobe.com>をご覧ください。